

校訓《自主 友愛 健康》

天水中学校便り 8 号

平成 31 年 1 月 7 日

校長 中村浩二

大きな感動のある卒業式に！

～平成 31 年 3 月 9 日（土） 挙行～

新年、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。そして、皆様にとって 2019 年が輝かしい年になりますよう心よりお祈り申し上げます。

さて、本校においては、10 月に始まった後期も、あと半分となりました。学校は年度で区切るので、学年の仕上げの時期、次の学年への準備の時期となるかと思います。

私が考える後期の後半の一番大きな目標は、3 月 9 日の卒業式です。卒業式は、正式には「卒業証書授与式」と言われ、卒業証書を授与する式典で、今もなお続く伝統行事です。言ってみれば、学校の歴史そのものです。卒業証書の番号がその表れの一つかも知れませんが、保護者や地域の方にもその一人だという方が、たくさんいらっしゃいます。その積み重ねの先に、今年度の 3 年生 46 名が巣立っていく、そう考えることができますと思います。

学校にとっては、「地域の子どもたちが目指す姿」つまり義務教育 9 年間の集大成を見せる行事、在校生にとっては、来年、再来年を見据えながら、卒業生のために最高の花道をつくる行事、保護者にとっては、我が子の成長を確認する行事、地域の方々にとっては、地域で育てた子どもの晴れ姿を見る行事になります。

3 年生、つまり卒業生にとっては、卒業式は、区切りとしての「終わり」と、次の生活への出発という「始まり」の意味を持ちます。中学校では、義務教育の修了という意味も大きいと思います。そんな中で、自らの成長に誇りを持ち、それを支援してくれた保護者、地域の方々、先生方へ感謝と将来への決意を示す機会となります。そして、卒業生は地域の子子どもたちが目指す姿を全力で表現します。感謝の気持ちを形にするために、立ち振る舞い、身だしなみ、返事、ことば、合唱等、それぞれに全身全霊を込める行事なのです。

こんなに大きな意義をもつ行事は、他にはありません。学校最大の行事と言っても過言ではありません。だから、みんな感動するわけです。ただ感動の大きさは、1 月 7 日から 3 月 9 日までの生活の仕方にかかっています。

3 年生のみんなが、自分が決めた進路と正面から向き合っているか？

3 年生のみんなが、保護者、地域の方々、先生方に、心から「ありがとうございました。お世話になりました」と言える気持ちをもって生活しているか？

これらの思いをしっかりとって、生活してください。今日から卒業式の準備は始まっています。「チーム天水」一丸となって、一緒に頑張りましょう！

卒業式に大きな感動を期待して、新年のご挨拶とさせていただきます。